

第 40 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日 時 令和 2 年 7 月 20 日 (月) 13:30~14:30

2. 場 所 日本電気協会 4 階 D 会議室 (Web 会議併用)

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員: 北山主査(東京都立大学), 楠原副主査(名古屋工業大学), 今村幹事(東京電力 HD),
野田(原子力安全推進協会), 高橋(北海道電力), 相澤(東北電力), 敦賀(東京電力 HD),
大河内(中部電力), 田村_公(北陸電力), 落合(中国電力), 岡田(四国電力), 稲富(九州電力),
佐藤(電源開発), 菊地(日本原子力発電), 清水(大林組), 藪内(鹿島建設), 田村_正(清水建設),
藪下(竹中工務店), 樋口(東芝エネルギーシステムズ), 飯島(日立 GE ニュークリア・エナジー),
金澤(電力中央研究所) (計 21 名)

代理出席: 網嶋(関西電力, 三明代理), 南(大成建設, 宇賀田代理), 安田(三菱重工業, 伊神代理)
(計 3 名)

欠 席: 久保(東京大学名誉教授) (計 1 名)

説 明 者: 諸菱(大林組) (計 1 名)

オブザーバ: 森谷(原子力規制庁) (計 1 名)

事務局: 岸本, 原, 田邊 (日本電気協会) (計 3 名)

4. 配付資料

資料 No.40-1 第 39 回建物・構築物検討会議事録 (案)

資料 No.40-2 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿

資料 No.40-3-1 JEAC4601-202X [検討項目・工程] (案)

資料 No.40-3-2 第 39 回建物・構築物検討会 (R2.2.14) コメント及び対応方針

資料 No.40-3-3 コメント回答 (案) 修正文案比較表

資料 No.40-3-4 JEAC4601 「原子力発電所耐震設計技術規定」改定作業において参考とした
国内外知見と反映状況について (建物・構築物検討会)

資料 No.40-3-5 原子力発電所耐震設計技術規程 JEAC4601 改定(案) 比較表 3 章 建物・構
築物の耐震設計 JEAC4601 「第 3 章 建物・構築物の耐震設計」改定案 比較表

資料 No.40-3-6 JEAC4601 「第 3 章 建物・構築物の耐震設計」改定案 本文

5. 議 事

事務局より, 本会にて, 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 議事が進められた。

(1) 資料の確認, 代理出席者の承認等

事務局より配付資料の確認があり, 引き続き, 代理出席者 3 名が紹介され, 主査の承認を得た。代理出席を含めた出席委員は 24 名であり, 決議に必要な条件「委員総数の 2/3 以上の出席」を満たしていることを確認した。また, オブザーバの紹介があり, 主査の承認を得た。さらに, 説明者の紹介があった。

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料 40-1 に基づき、前回議事録（案）の概要説明があり、挙手及び Web 機能にて承認された。

(3) 委員の変更

事務局より、資料 40-2 に基づき、下記委員の交代の紹介があった。

三明 委員（関西電力） → 綱嶋 新委員候補（同左）

(4) JEAC4601 改定について

担当委員より、JEAC4601 改定のスケジュール、改定概要について、紹介があった。
審議の結果、資料を一部修正して、8 月 4 日開催の耐震設計分科会に上程することとなった。

1) JEAC4601 検討項目、工程について

今村幹事より、資料 40-3-1 に基づき、検討項目、スケジュールについて、説明があった。

<主な説明>

- ・全体スケジュールとしては、新型コロナウイルスの影響で 2020 年 4 月から 6 月までの間作業ができず 3 か月遅れの工程となっている。
- ・当初 2020 年 12 月に成案の予定であったが 2021 年 3 月に成案の予定となった。
- ・作業会を 7 月 6 日に実施し、本日 7 月 20 日に検討会、8 月 4 日に分科会が開催される。この分科会で上程予定の本規格改定案の書面投票となり、お盆過ぎに結果が出る予定。
- ・その後、作業会等を進め、分科会のコメント回答の必要があれば、分科会の審議になり、分科会のメール審議、或いは分科会長に一任される形になる。これを踏まえて 9 月 29 日の原子力規格委員会の審議にかけられ、4 週間の書面投票に移行し最終案を作っていく。ここでコメント等があれば意見対応が行われ、分科会にかかる必要があれば、その後で公衆審査に入る。
- ・大きな意見が無ければ 3 月に成案となる予定としている。

<主なご意見、コメント>

- ・3 か月遅れていて、それが右側にずれていると言う理解で良いか。
→ その通りであり、後は機器側のスケジュール等を反映しつつ進めていくものと考えている。
- ・事務局から、今のところ原子力規格委員会は 10 月 5 日に変更されている。
→ 了解した。スケジュールに反映する。

2) 改定案の検討【審議】

藪内委員より、資料 40-3-2、資料 40-3-3、資料 40-3-5、資料 40-3-6 に基づき、本規格に対する検討会、分科会で出されたコメント及び意見に対する回答の説明があった。

審議の結果、今回の検討会で出たコメントを反映し、分科会に上程することで承認された。

<主な説明>

○ 第 39 回建物・構築物検討会コメント及び対応方針

- ・検討会でのコメント No.1, No.2 については記載を適切に見直した。
- ・コメント No.3 については, JEAC に 2 重ノバックと言う表現は無いので参考文献で評価できることを記載した。
- ・コメント No.4 については, 記号を修正することで対応した。

○ 第 78 回耐震設計分科会への中間報告に対する意見及び対応方針

- ・分科会での意見 No1 及び No.2 については, 意見をそのまま反映し修正した。
- ・意見 No.3 については, 原子炉建物位置以外は試掘坑が無い事から現状の表現のままとした。

<主なご意見, コメント>

- ・現状の原子炉建物という表記について, 確か個別の名称が付いたものは原子炉建屋と言うのだと考えるが。

→原子炉建物を原子炉建屋に修正する。原子炉建屋設置位置周辺に修正する。

- ・資料 No.40-3-6 の改定案本文のコード参 3.5-12 頁参考図 3.5-20 入力動のターゲットスペクトルの図において, 縦軸が水平動/鉛直動になっているが, 正しくは鉛直動/水平動なので修正のこと。

→誤りなので修正する。

- ・資料 No.40-3-6 の改定案本分のコード参 3.9-2 頁の参図 3.9-2 の図題の上に(a)プラット形の表記があるがこれは削除するように。

→挿入修正する。

- 特に異論がなかったため, 今回の審議結果を反映した資料で 8 月 4 日開催の耐震設計分科会上程することについて, 挙手及び Web 機能にて決議し承認された。

3) 最新知見反映状況

菽内委員より, 資料 40-3-4 に基づき, JEAC4601「原子力発電所耐震設計技術規程」改定作業において参考とした国内外知見と反映状況について説明があった。

審議の結果, 今回のコメントを反映し分科会上程時の国内外知見反映資料とすることで承認された。

<主なご意見, コメント>

- ・発表論文一覧の著者に書いてある東京設計は, 東電設計なので修正のこと。

→誤記なので修正する。

- 特に異論がなかったため, 今回の審議結果を反映した最新知見説明資料で, 8 月 4 日開催の耐震設計分科会上程することについて, 挙手及び Web 機能にて決議し承認された。

(5) その他

- 規格案の本文については各委員もう一度確認し，修正がある場合は幹事または事務局に連絡する。
- 昨年度の功労賞が決まり，清水委員の受賞が決まった
- 分科会に出す前に，幾つか確認シートの事務局への提出をお願いする。
- JEAC4601 は，かなり分厚くなっており，使いづらいので，分冊する，或いは Web 化するなどの提案をしているがその後どうなったか。
→本件，事務局であずかり，対応が可能か検討する。
- 次回検討会：今村幹事と調整し決める。

以 上